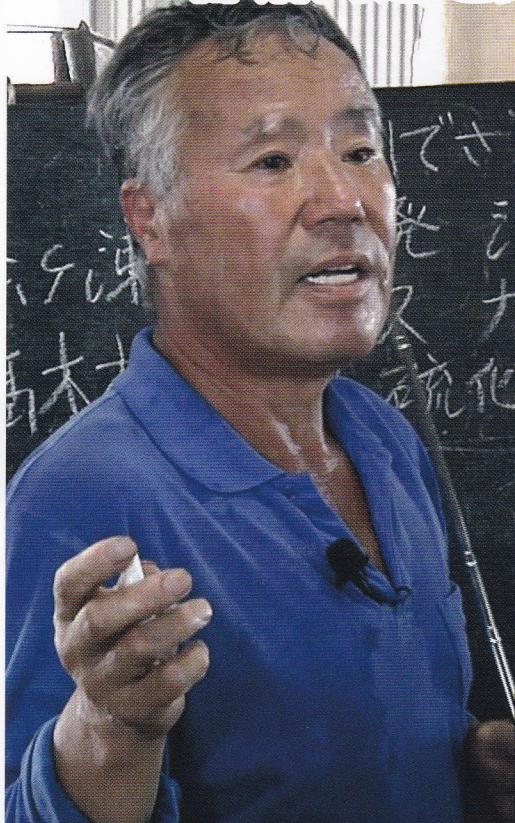


部落問題を文化を切り口に見つめ直す3作品



かわ 第24巻 皮革から見える部落問題

～皮革研究家・柏葉嘉徳～

皮革を通して部落問題を伝え続ける
柏葉嘉徳さん(71)。
自身の工場でのユーモア溢れる講演と
皮なめしの体験学習が
参加者の意識を大きく変えていく。

(兵庫)



第25巻 芸能と差別

～ひとり芝居・中西和久～

芸能万華鏡「しおだづま考」を
演ずる中西和久さん。
三代続く役者稼業の歴史は、
100年に及ぶ部落解放運動の歴史と
重なっていく。

(福岡)



第26巻 生きた童話を届けたい

～猿まわし・筑豊大介～

途絶えていた猿まわし芸を復活させた
功労者の一人・筑豊大介さん(58)。
叩き仕込みではなく
言って教える本仕込みの教育論が
注目を浴びる。

(福岡)

- 第1巻 「更池の語り部」—吉田小百合—
- 第2巻 「人の値うちを問う」—江口いとー
- 第3巻 「あした元気になあれ」—松村智広—
- 第4巻 「人の世に熱と光を」—清原隆宣—
- 第5巻 「峠を越えて」—森口健司—
- 第6巻 「差別っていったい何やねん」—川口泰司—
- 第7巻 「人間の尊厳を求めて」—森田益子—
- 第8巻 「ぬくもりを感じて」—中倉茂樹—
- 第9巻 「私からはじまる人権」—柴原浩嗣・宮前千雅子—
- 第10巻 「えびす舞に思いをのせて」—辻本一英—

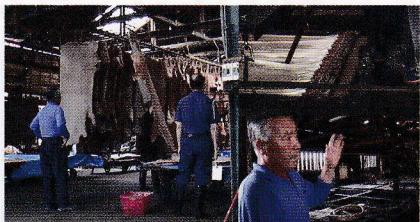
DVD BOX I (1~10巻)

- 第21巻 「結婚差別 400事例」—弘瀬喜代—
- 第22巻 「心の窓を拓いて」—明石一朗—

- 第11巻 「あすなろを生きる」—野上早苗—
- 第12巻 「若い力は今」—吉岡綾一—
- 第13巻 「母娘で問うた部落差別」—坂田かおり・愛梨・瑠梨—
- 第14巻 「人権感覚を磨きませんか」—大湾昇一—
- 第15巻 「夫婦で差別と闘います!」—石井真澄・千晶一—
- 第16巻 「ドラゴン流“人権とダンス”」—松本柳子—
- 第17巻 「仕事作りが私の仕事」—植並鈴枝—
- 第18巻 「無知を許さず」—浦本誉至史—
- 第19巻 「差別を許さない自分づくり」—長谷川サナエ—
- 第20巻 「52歳の立場宣言」—岡潤爾—

DVD BOX II (11~20巻)

- 第23巻 「歩(ふ)の歩み 80年」—山本栄子—



講演と体験学習

ムラには最盛期70軒もの皮革工場があった。父の代から生業とし、自身も10歳の頃から皮革一筋の人生を歩む。

姫路の皮なめし

古代朝鮮から伝わった皮なめし。明治以降、近代日本の皮革産業を支えてきた。その歴史をひも解く。

第25卷 芸能と差別



世界を巡る「しのだづま考」

日本の芸能の源と言われる説経節を基に創られた異類婚姻譚。中西の代表作。文化庁芸術祭賞の他、海外でも受賞多数。



三代つづく旅役者

祖父は座長をしながら水平運動に。松本治一郎との縁は、父の人生を変え、大学進学、教師への道を拓いた。



役者か教師か

同和教育の教師を目指していたが、父の最後の戯曲が演劇への道を決断させた。今、芝居で思いを伝える。

第26卷 生きた童話を届けたい

~猿まわし・筑豊大介~



歴史を通して人権を考える

古来より猿は馬の健康を守る使いとして崇められてきた。猿まわしは部落の伝統芸能であり生業だった。

部落差別・つながり・平等

消滅していた猿まわし復活の三原則は、部落問題・人と人とのつながり・平等。そして「生きた童話」の再現だった。

輪の芸能

高齢者施設、障害者施設、保育所、小学校などで心待ちにする人たち。心も癒す猿まわしが平等の輪を作る。

製作／酒井邦一・田中幸夫

撮影／BALMA

編集／NON

整音／吉田一郎

監督／田中幸夫

第1巻～第10巻／DVD-BOX I DVD(字幕無し)

第11巻～第26巻 DVD(字幕 有/無 選択可)

DVD-BOX II(11巻～20巻)DVD(字幕 有/無 選択可)

取扱・・・

北辰映像株式会社埼玉県さいたま市緑区三室2190-2 〒336-0911
電話048-810-5277 Fax048-876-2955